

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は105.3となり、前年に比べ0.2%の上昇となった。

菓子類が3.1%、油脂・調味料が2.8%、調理食品が2.7%、酒類が1.7%、野菜・海藻が0.6%の上昇となった。

一方、果物が3.1%、乳卵類が1.5%、魚介類が1.4%、飲料が0.8%、外食が0.7%、肉類が0.4%、穀類が0.1%の下落となった。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介が4.7%、生鮮野菜が0.7%、生鮮果物が3.4%の下落となったため、生鮮食品全体では2.9%の下落となった。

表1 食料の中分類別前年比の動き

項目	19年	20年	21年
食料	17	29	02
穀類	03	76	-0.1
魚介類	50	00	-1.4
肉類	17	09	-0.4
乳卵類	1.1	40	-1.5
野菜・海藻	-17	19	0.6
果物	118	49	-3.1
油脂・調味料	16	84	2.8
菓子類	-0.4	83	3.1
調理食品	46	39	2.7
飲料	-12	06	-0.8
酒類	08	32	1.7
外食	0.1	09	-0.7
生鮮食品	4.1	-0.1	-2.9
生鮮魚介	5.6	-3.9	-4.7
生鮮野菜	-1.5	1.6	-0.7
生鮮果物	11.4	5.2	-3.4

図7 食料指数の月別の動き

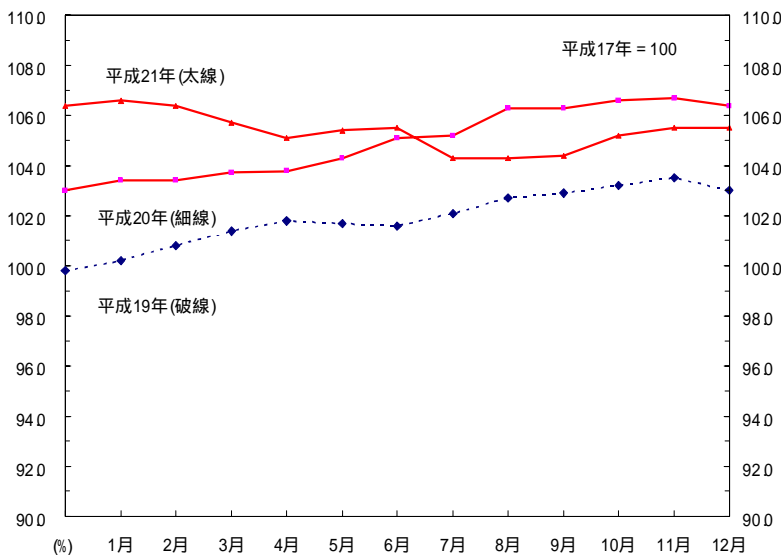


図8 生鮮食品指数の月別の動き

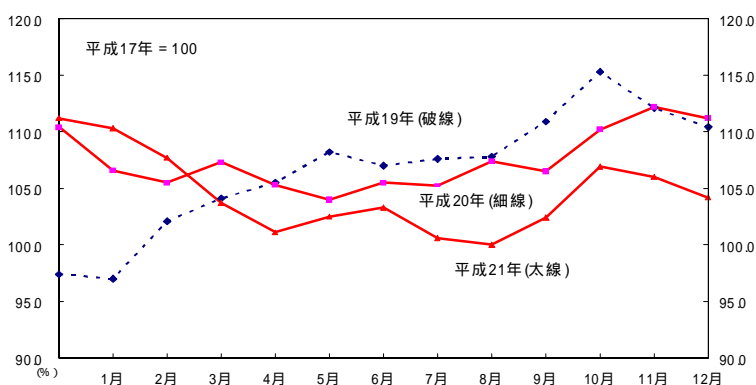


図9 生鮮魚介指数の月別の動き

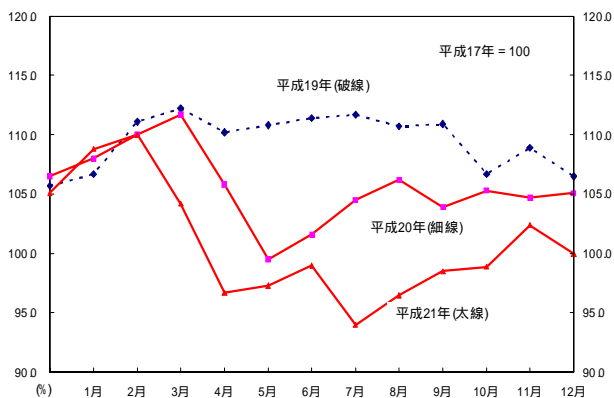


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

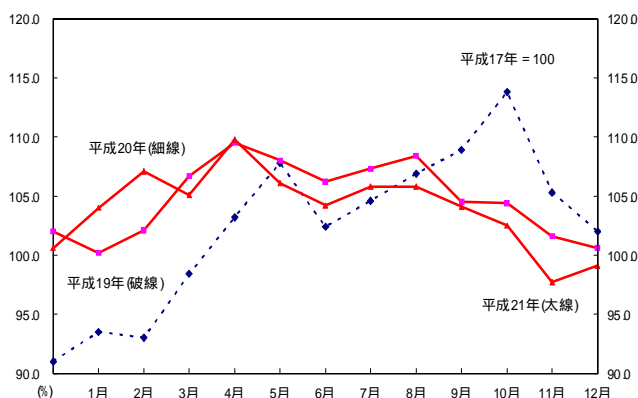
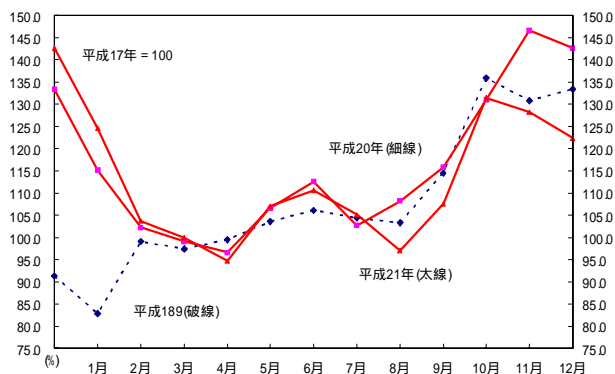


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2 - 2 住居

住居は103.0となり、前年に比べ1.9%の上昇となった。

内訳をみると、家賃が1.9%の上昇、設備修繕・維持が1.3%の上昇となった。

なお、持家の帰属家賃を除く家賃は1.4%の上昇となった。

図12 住居指数の月別の動き

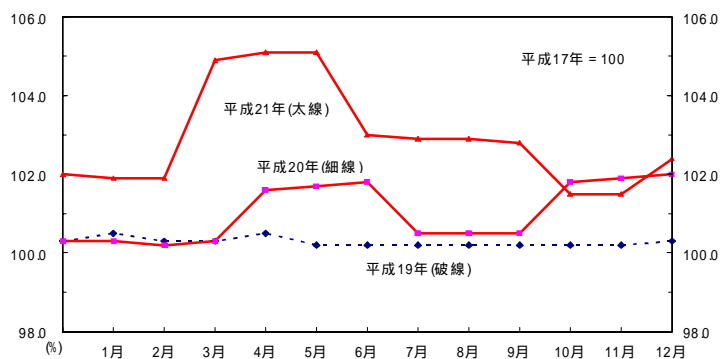


表2 住居の中分類別前年比の動き

項目	19年	20年	21年
住居	0.1	0.8	1.9
家賃	0.0	0.6	1.9
設備修繕・維持	1.1	2.7	1.3
持家の帰属家賃を除く住居	1.0	1.7	1.4
持家の帰属家賃を除く家賃	0.9	0.7	1.4

2 - 3 光熱・水道

光熱・水道は105.7となり、前年に比べ2.5%の下落となった。

内訳をみると、他の光熱が灯油の値下がりにより33.4%の大幅な下落となった。

一方、ガス代は0.4%の上昇となった。

電気代と上下水道料は前年と同水準となった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

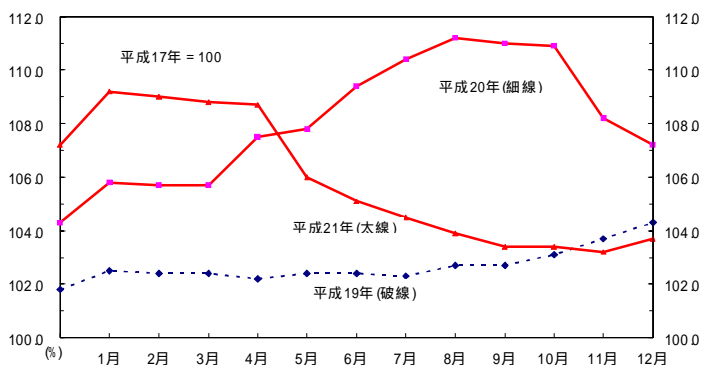


表3 光熱・水道の中分類別前年比の動き

項目	19年	20年	21年
光熱・水道	0.5	5.4	-2.5
電気代	0.3	2.4	0.0
ガス代	0.8	5.6	0.4
他の光熱	1.4	31.2	-33.4
上下水道料	0.0	5.1	0.0

2 - 4 家具・家事用品

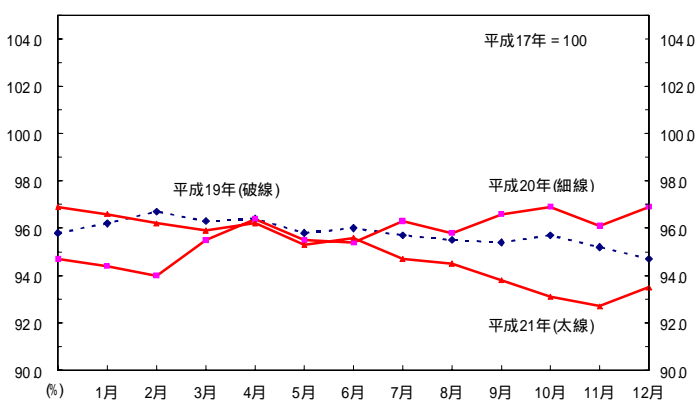
家具・家事用品は94.8となり、前年に比べ1.0%の下落となった。

内訳をみると、住宅不況による家具などの販売不振により家庭用耐久財が2.2%下落し、12年連続の下落となったのをはじめ、室内装備品が4.9%、家事用消耗品が1.0%、家事サービスが0.9%の下落となった。

一方、寝具類は1.5%、家事雑貨は0.9%の上昇となった。

表4 家具・家事用品の中分類別前年比の動き

図14 家具・家事用品指数の月別の動き



項目	19年	20年	21年
家具・家事用品	-1.8	0.0	-1.0
家庭用耐久財	-6.7	-0.8	-2.2
室内装備品	-0.1	-12.9	-4.9
寝具類	4.3	-6.1	1.5
家事雑貨	-2.5	4.6	0.9
家事用消耗品	1.5	4.2	-1.0
家事サービス	0.2	-0.1	-0.9

2 - 5 被服及び履物

被服及び履物は103.7となり、前年に比べ0.3%の上昇となった。

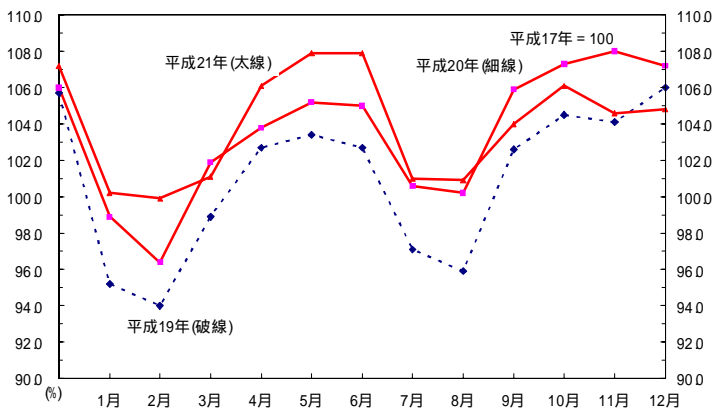
内訳をみると、履物類が1.9%、衣料が0.6%、被服関連サービスが0.2%の上昇となった。

一方、シャツ・セーター・下着類は0.3%、他の被服類は0.2%の下落となった。

なお、衣料のうちでは和服が5.7%の下落、洋服は1.2%の上昇となり、シャツ・セーター・下着類のうちではシャツ・セーター類が1.0%の下落、下着類は1.6%の上昇となった。

表5 被服及び履物の中分類別前年比の動き

図15 被服及び履物指数の月別の動き



項目	19年	20年	21年
被服及び履物	0.5	2.8	0.3
衣料	0.7	7.5	0.6
和服	0.0	0.0	-5.7
洋服	0.8	8.3	1.2
シャツ・セーター・下着類	0.3	-1.9	-0.3
シャツ・セーター類	1.0	-2.2	-1.0
下着類	-1.7	-0.8	1.6
履物類	1.4	1.0	1.9
他の被服類	-0.3	-0.8	-0.2
被服関連サービス	0.1	0.9	0.2

2 - 6 保健医療

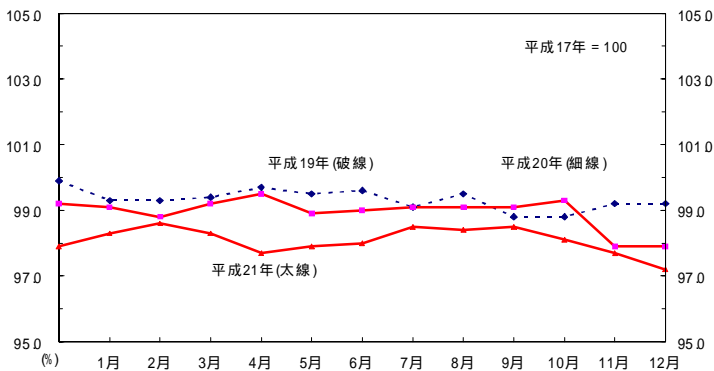
保健医療は98.1となり、前年に比べ0.8%の下落となった。

内訳をみると、保健医療用品・器具が7.0%、医薬品・健康保持用摂取品が0.2%の下落となった。

一方、保健医療サービスは0.6%の上昇となった。

表6 保健医療の中分類別前年比の動き

図16 保健医療指数の月別の動き



項目	19年	20年	21年
保健医療	0.1	-0.4	-0.8
医薬品・健康保持用摂取品	-0.9	0.0	-0.2
保健医療用品・器具	-0.7	-2.1	-7.0
保健医療サービス	0.9	-0.1	0.6

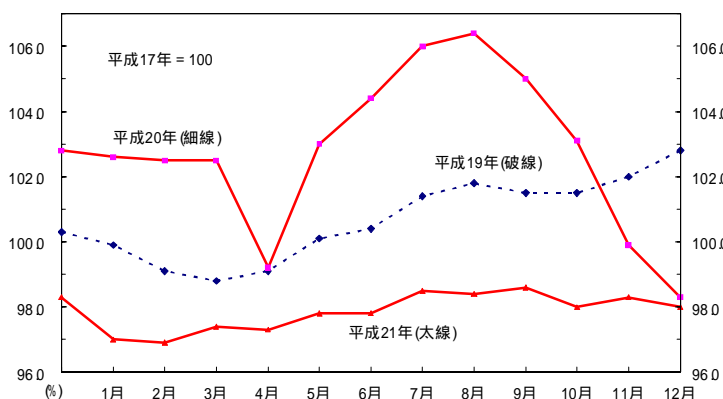
2 - 7 交通・通信

交通・通信は97.8となり、前年に比べ4.8%の下落となった。

内訳をみると、ガソリン等の値下がりにより自動車等関係費が7.0%、高速道路料金の引き下げなどにより交通が2.3%、通信が0.2%の下落となった。

表7 交通・通信の中分類別前年比の動き

図17 交通・通信指数の月別の動き



項目	19年	20年	21年
交通・通信	0.3	2.0	-4.8
交通	0.2	0.7	-2.3
自動車等関係費	1.3	3.1	-7.0
通信	-2.0	0.1	-0.2

2 - 8 教育

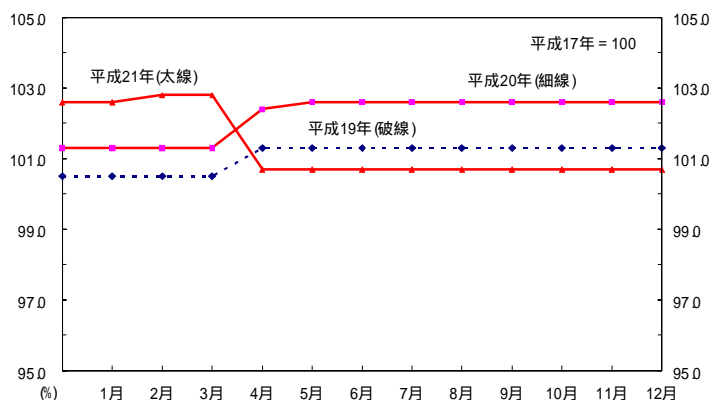
教育は101.2%となり、前年に比べ1.1%の下落となった。

内訳をみると、補習教育が7.3%の下落となった。

一方、教科書・学習参考教材が8.6%、授業料等が0.1%の上昇となった。

表8 教育の中分類別前年比の動き

図18 教育指数の月別の動き



項目	19年	20年	21年
教育	0.7	1.2	-1.1
授業料等	0.9	1.5	0.1
教科書・学習参考教材	1.8	0.2	8.6
補習教育	0.0	0.2	-7.3

2 - 9 教養娯楽

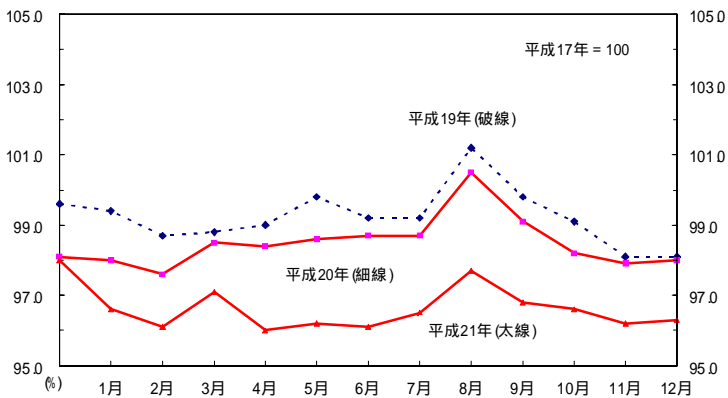
教養娯楽は96.5となり、前年に比べ2.0%の下落となった。

内訳をみると、液晶テレビなどの価格下落により教養娯楽用耐久財が14.0%と大幅な下落となったほか、教養娯楽サービスが1.8%、教養娯楽用品が1.4%の下落となった。

一方、書籍・他の印刷物は0.2%の上昇となった。

表9 教養娯楽の中分類別前年比の動き

図19 教養娯楽指数の月別の動き



項目	19年	20年	21年
教養娯楽	-0.8	-0.7	-2.0
教養娯楽用耐久財	-11.4	-16.1	-14.0
教養娯楽用品	0.4	-1.0	-1.4
書籍・他の印刷物	0.2	0.1	0.2
教養娯楽サービス	-0.1	1.2	-1.8

2 - 10 諸雑費

諸雑費は102.6となり、前年に比べ0.2%の下落となった。

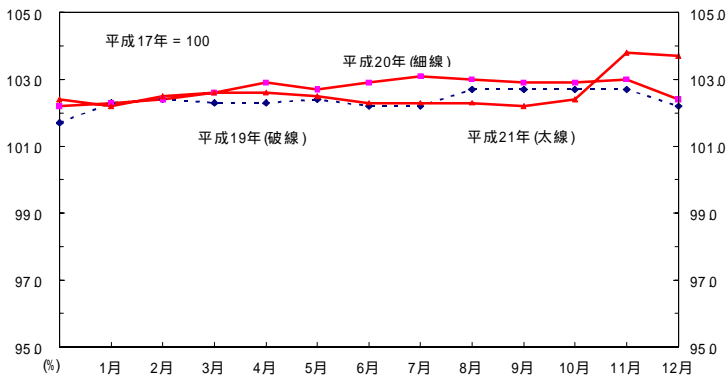
内訳をみると、理美容用品が1.4%の下落となった。

一方、他の諸雑費は0.5%の上昇となった。

なお、理美容サービス、身の回り用品、たばこは前年と同水準となった。

表10 諸雑費の中分類別前年比の動き

図20 諸雑費指数の月別の動き



項目	19年	20年	21年
諸雑費	1.2	0.4	-0.2
理美容サービス	0.1	-0.3	0.0
理美容用品	-0.7	2.2	-1.4
身の回り用品	5.8	-2.9	0.0
たばこ	4.3	0.1	0.0
他の諸雑費	0.2	1.0	0.5